

編集後記

2022年度会誌編集委員長を務めます、伊藤誠と申します。1年間どうぞよろしくお願いいたします。昨年度初めて本会会誌編集委員に参画し、なんとなく様子を見ているうちにあっというまに1年が経過してしまいました。本年6月に会誌編集委員長を引き継いだものの、しばらくの間実際には右も左もわからないという状況が続いてしまいました。幸いにして、前任の委員長を務められた櫻井成一郎先生のリードで本号編集計画を入念に練ってくださったことから、小職としては挙がってくる原稿を肅々と処理することに専念でき、何とか大きな問題なく編集プロセスを進めることができました。

本号では、解説4編、原著論文3編、国際戦略経営研究学会様による会員学会紹介や新しい横幹図の紹介を含めトピック4編と、充実した内容となりました。ご寄稿いただきました著者の皆様、原稿の校閲に携わってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

直近数年の本誌の発行状況を見返してみますと、コロナ禍に入った後から記事数の低下などの形で影響が顕著に表れていることがわかります。本号に見られた記事数の回復状況は、会員学会の皆様の研究活動がコロナ禍を克服しつつあることの証左であろうかと考えます。この勢いをお借りして、次号以降、さらにパワーアップした会誌を会員学会の皆様にお届けできるよう努めてまいります。現在活動が推進されている研究会の活動状況のご報告や、会長のリーダーシップの下進められている各種施策につきましても、会誌の場を活用して会員学会の皆様に広く周知したいと思っております。また、新たな企画についても、会誌編集委員会で検討を進めてまいります。会員学会の皆様から記事や企画のアイデアなどございましたら、是非ご提案いただければありがたく存じます。

引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

2022年度会誌編集委員長 伊藤 誠

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

□ 2022年度役員

会 長	安岡 善文（東京大学名誉教授）		
副会長	椿 広計（統計数理研究所）	高木 真人（日本工学会）	
理 事	青木 洋貴（東京工業大学）	伊藤 誠（筑波大学）	
	入部 正継（大阪電気通信大学）	木野 泰伸（筑波大学）	
	後藤 裕介（芝浦工業大学）	櫻井成一郎（明治学院大学）	
	早川 有（早稲田大学）	林 勲（関西大学）	
	ベントン・キャロライン（筑波大学）	山下 智志（統計数理研究所）	
	伊東 明彦（(株)ツクリエ）	川崎 茂（滋賀大学）	
	川中 孝章（東京大学）	木野 泰伸（筑波大学）	
	佐藤 一弘（東洋製罐グループHD）	長沢 伸也（早稲田大学）	
	林 聖子（亜細亜大学）	藤井 享（北見工業大学）	
	藤田 政之（東京大学）	皆川健多郎（大阪工業大学）	
	吉見 卓（芝浦工業大学）		
監 事	出口光一郎（東北大学）	本多 敏（慶應義塾大学）	

□ 2022年度会誌編集委員会

委員長	伊藤 誠（筑波大学）		
副委員長	川崎 茂（滋賀大学）	櫻井成一郎（明治学院大学）	
委 員	椿 広計（統計数理研究所）	林 聖子（亜細亜大学）	
	青柳 秀紀（筑波大学）	穴太 克則（芝浦工業大学）	
	岩澤誠一郎（名古屋商科大学）	大塚 敏之（京都大学）	
	小平和一郎（アーネスト育成財団）	金子 勝一（山梨学院大学）	
	倉橋 節也（筑波大学）	玉置 久（神戸大学）	
	椿 美智子（東京理科大学）	水野 毅（埼玉大学）	
	三宅 美博（東京工業大学）	横山 清子（名古屋市立大学）	
顧 問	出口光一郎（東北大学）		

■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的に行っている「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

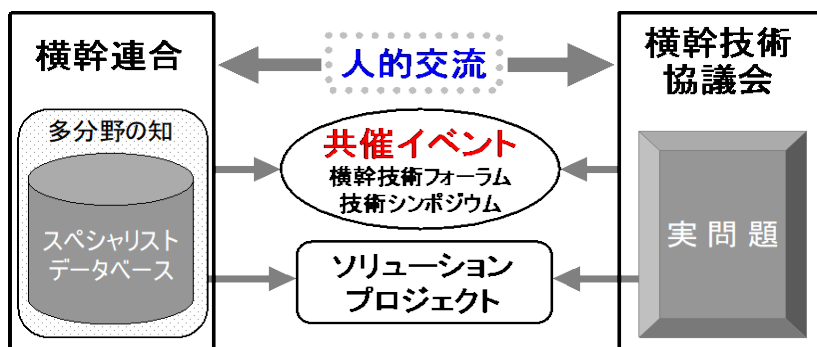
<過去のフォーラム実績>

- 第36回 アート・デザイン・テクノロジー～近くて遠いその関係～
- 第37回 「未来学」の過去・現在・未来
- 第38回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第39回 社会システム論で社会を読み解く
- 第40回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第41回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第42回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取り組み～
- 第43回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第44回 ロボット活用社会の新潮流
- 第45回 システムデザイン力を展望する
- 第46回 第6次産業への取り組み～複数システムの連携による価値構築～
- 第47回 4次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用に向けた課題
- 第48回 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化
～ものづくりプラス企業の実現に向かって～
- 第49回 ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命 (IoT/インダストリアル4.0) の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは
- 第50回 未来洞察 (Foresight) 活動の取り組みの現状とその活用
－科学技術融合時代の先取りを目指して－
- 第51回 ヘルスケア・サイエンスの取り組みと現状
－医療に頼らない健康管理のためのヘルスケア－
- 第52回 IoT・ビッグデータ・AI時代の企業間連携とプラットフォーム
－センシングデータ利活用の可能性と課題－
- 第53回 Society 5.0時代のヘルスケア (その1)
- 第54回 Society 5.0時代のヘルスケア (その2)
- 第55回 Society 5.0が実現するデータ駆動型まちづくりー展望と課題ー
- 第56回 オープンイノベーション活動『豊洲の港から』
- 第57回 先端医療 (医用生体工学・行動神経経済学・医療経営学) 研究の現状とその活用による北海道の地域・医療イノベーション
- 第58回 地域医療の情報化における諸問題とその克服に向けた課題

※過去のフォーラムプログラムはHP (<https://www.trasti.jp/about.html#forum>) でご覧いただけます

■企業の課題解決支援 (プロジェクト活動)

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

(株)日立製作所名誉顧問
元 内閣府総合科学技術会議議員

横断型基幹科学技術推進協議会 (略称: 横幹技術協議会) は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

(設立: 2004年5月)

■参加会員 (2022年10月現在)

【中核会員】

(株)日立製作所

【インキュベーション会員】

(株)日立ソリューションズ東日本

横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX: 03-6675-4076 URL: <https://www.trasti.jp/>